



高橋 瑞紀

Takahashi Mizuki

国税専門官 平成30年採用

大阪国税局 査察部

やるべきときはとことんやる

休む時は徹底的に休む

Question

1

現在の仕事内容について教えてください。

査察制度の目的は、悪質な脱税者に対して刑事責任を追及するべく一罰百戒の効果を通じて、適正・公平な課税の実現と申告納税制度を維持することです。

我々査察官は、その目的を達成するために、社会的に非難されるべき悪質な脱税の的確な摘発、検察官への告発に向け、日々職務に励んでいます。脱税の疑いがある個人や法人について、各種情報を収集・分析したり、張り込み等の内偵調査を実施したりして、徹底的に脱税の証拠を収集します。その後、裁判官に捜索や差押えに係る許可状を請求して強制調査を行い、脱税の全貌を解明して検察官に告発することとなりますが、このような仕事は査察部でしか経験できません。

Question

2

仕事のやりがいや達成感を感じたことを教えてください。

通常の税務調査の場合は、事業所や会社へ赴き、事業主や代表者の方と面会して調査を進めます。

私が所属する部署は、直接事業主や代表者の方と対峙することはありませんが、あらゆる情報を収集・分析したり、内偵調査などを行うことにより、その脱税の手口や規模を想定し、事案を組成する部署ですので、常に情報を収集するためのアンテナを高く張っています。

まるでジグソーパズルを組み立てるように、一つ一つの小さい情報を積み重ねていくことで、脱税の事実が明らかになっていくことを経験できたり、着手当日に脱税の手口や規模が事前の想定どおりに把握できたときなどは、普通では味わえない達成感を感じることがあります。

Question

3

仕事をする上で意識していることはありますか。

常に「脱税を許さない。」という気持ちで、日々の職務に従事しています。

脱税事件の告発に至るまでは、くじけそうになることも多々ありますが、「悪質な脱税者には正義の鉄槌を下す。」という信念を持って、どんな仕事であっても一生懸命取り組んでいます。とはいうものの、気を張り続けることはできませんので、メリハリをつけて仕事をすることも意識しています。

事案の組成中は忙しいこともありますが、「やるべきときはとことんやる、休むときは徹底的に休む。」という意識が査察部には浸透していますので、私も夏休みや年末などには長期の休暇を取得し、趣味の海外旅行に行ったりして、しっかりリフレッシュしています。



Message

国税局、それも激務と聞いていた査察部に配属される前は、残業ばかりで休みも取れないのではないかと不安に思っていたのですが、実際に配属されてみると、良い意味で予想を裏切られました。

もちろん、忙しいときもありますが、「ワークライフバランス」を実践すべく、皆さんメリハリをつけて職務に励んでおり、私もオンオフの切り替えをしながら働くことができています。また、税務署では経験できなかったことや知らなかったことを新たに習得でき、毎日が刺激的でとても充実しています。

是非国税の職場を目指していただき、査察部で一緒に働きましょう！